

# 読響

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

6年間の集大成。優人が飾る有終の美!  
数々の名演奏を残し、次のステージへ。

## 鈴木 優人

MASATO SUZUKI (Conductor)



瀧村依里(読響首席ヴァイオリン) 富岡廉太郎(読響首席チェロ)  
金子亞未(読響首席オーボエ) 井上俊次(読響ファゴット)

ERI TAKIMURA (YNSO Principal Violin), RENTARO TOMIOKA (YNSO Principal Cello)  
AMI KANEKO (YNSO Principal Oboe), TOSHITSUGU INOUYE (YNSO Bassoon)

ハイドン:交響曲第26番 二短調「ラメンタチオーネ」

ハイドン:協奏交響曲 変ロ長調

ストラヴィンスキー  
バレエ音楽「春の祭典」

HAYDN: Symphony No. 26 in D minor, "Lamentatione"

HAYDN: Sinfonia concertante in B flat major

STRAVINSKY: Le sacre du printemps

読売日本交響楽団 第285回 土曜マチネーシリーズ

2026 3.14(土)14:00 / S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

読売日本交響楽団 第285回 日曜マチネーシリーズ

2026 3.15(日)14:00 / S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール

YNSO Saturday Matinée Series No. 285 / Sat. 14 Mar. 2026, 14:00

YNSO Sunday Matinee Series No. 285 / Sun. 15 Mar. 2026, 14:00

Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390(10時~18時・年中無休)

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催:東京芸術劇場(公益財團法人東京都歴史文化財团)

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

マサトと読響の「春の祭典」

3月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》は、指揮者／クリエイティヴ・パートナーの鈴木優人の同ポストとしての最終公演になります。彼は2020年4月から6年間にわたり、読響と幅広いレパートリーで数々の名演奏を繰り広げてきました。特に古典派音楽と近現代作品を組み合わせたプログラムは、多くの聴き手を魅了しました。また優人は近年、パリ管やハンブルク響を振るなど海外での活動も増え、音楽家としての更なる深化を見せてています。今回、古典派ハイドンによる2曲と20世紀を代表するストラヴィンスキーの傑作「春の祭典」を演奏し、優人と読響が作り上げてきた6年の成果を披露します。

1曲目は、ハイドンの交響曲第26番「ラメンタチオーネ」。「ラメンタチオーネ」とは「悲しみ」の意味で、瞑想的なアーデージョ楽章が印象的です。古典派音楽に通じた優人は、読響から繊細な音色を引き出し、絶妙なバランス感覚でハイドンの音楽の様式美と深い感情表現を露わにするでしょう。

2曲目は、同じくハイドンのヴァイオリン、チェロ、オーボエ、ファゴットと管弦楽のための「協奏交響曲」。バロック時代の合奏協奏曲に倣った協奏曲形式の曲です。弦楽器と管楽器の4つの独奏楽器とオーケストラが、心地よい対話を繰り広げるでしょう。終楽章でのオペラ・アリアを思わせるような歌心に満ちたソロも聴きどころです。読響の腕利きの奏者たち4人の名人芸をたっぷりとご堪能ください。

メインのストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」は、初演された1913年に音楽界に大きな衝撃を与えるほど革新的なもので、音楽史を変えた作品として有名です。ストラヴィンスキーは「いけにえに決められたひとりの娘が死に至るまで踊る異教の儀式の場面を夢想した」と語っており、ロシア民謡を用いながら、変則的なリズム、多調、不協和音などを用いた奇抜な音楽が特徴的です。優人のタクトは、多くの打楽器を含む大編成のオーケストラを巧みにドライヴし、野性味あふれる鮮烈な演奏を生み出すでしょう。

# 衝撃！鮮烈に響く“バルサイ” &古典派ハイドンの美の極致に迫る



鈴木 優人 指揮者／クリエイティヴ・パートナー

クラシック音楽界を切り拓く新時代の旗手。2020年から読響の指揮者／クリエイティヴ・パートナーを務め、BCJ首席指揮者、アンサンブル・ジェネシス音楽監督、関西フィル首席客演指揮者の任にある。東京芸術大学卒業、同大学院及びオランダ・ハーグ王立音楽院修了。パリ管、ハンブルク響、マヨルカ島のバレアレス諸島響など国内外の楽団を指揮し、鍵盤楽器奏者としても国際的に活躍。調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサー。作曲も行うほか、NHK-FM「古楽の楽しみ」に出演するなど活動は多岐にわたる。芸術選奨文部科学大臣新人賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞など受賞多数。



瀧村依里 読響首席ヴァイオリン

神戸市出身。東京芸術大学を首席卒業、同大学院及びウィーン国立音楽大学大学院を修了。東京音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第1位、神戸市文化奨励賞などを受賞。(一財)地域創造 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。2015年から首席第2ヴァイオリン奏者を務めている。



金子亜未 読響首席オーボエ

千葉県出身。東京芸術大学を首席で卒業。日本管打楽器コンクール第1位、日本音楽コンクール第3位、国際オーボエコンクール軽井沢第2位などを受賞。札幌交響楽団と新日本フィルの首席オーボエ奏者を経て、2020年から読響首席オーボエ奏者を務めている。



富岡廉太郎 読響首席チェロ

札幌市出身。桐朋学園大学を経て、バーゼル音楽院を修了。ウェールズ弦楽四重奏団のメンバーとしてミュンヘン国際コンクール第3位、大阪国際室内楽コンクール第3位。東京シティ・フィル客員首席奏者として活躍後、2017年から読響首席チェロ奏者を務めている。



井上俊次 読響ファゴット

東京芸術大学を卒業。ミュンヘン音楽大学に留学。日本管打楽器コンクール入選。新星日本交響楽団とNHK交響楽団を経て、2006年から24年まで読響首席ファゴット奏者を務め、24年から読響ファゴット奏者。東京芸術大学及び昭和音楽大学、桐朋学園大学の非常勤講師。

読売日本交響楽団 第285回 土曜マチネーシリーズ

2026年 3月14日(土)14時開演  
S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

読売日本交響楽団 第285回 日曜マチネーシリーズ

2026年 3月15日(日)14時開演  
S¥8,800 A¥6,600 B¥5,500 C¥5,000

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

・JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より  
徒歩2分(駅地下通路2b出口と直結しています)

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社明日香 0120-165-115(予約受付:平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時~18時・年中無休

プレイガイド 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送無料



読響ホームページ <https://yomikyo.or.jp/>